

報道関係者各位

クレデンシャル情報を標的にした攻撃から組織を保護する 「Okta ThreatInsight」の攻撃検出機能を強化

アイデンティティ管理のサービスプロバイダーである Okta, Inc.（本社：米国・サンフランシスコ 以下 Okta）は、不正に入手したユーザー名やパスワードなどクレデンシャル情報を使った攻撃から組織を保護する「Okta ThreatInsight」の攻撃検出機能を強化したことを、最新機能アップデート (<https://www.okta.com/jp/blog/2021/11/okta-new-features-october-2021/>) で正式に公開 (GA) しました。

Okta ThreatInsight は、Okta のお客様や認証エンドポイントに対して行われる月間数十億件の認証リクエストを評価し、疑わしいアクセス元（IP アドレス）の行動パターンを AI に学習させ、組織が攻撃を受けていると検出した場合に、さらなる分析のために自動的にログを記録したり、アクセスをブロックします。

今回、攻撃検知機能の強化により、トラフィックパターンの変化に基づいて攻撃の検出ロジックを最適化することができるようになりました。例えば、大規模な DDoS やパスワードスプレー攻撃が検出された場合、Okta ThreatInsight は攻撃の開始を知らせるイベントをログに記録すると同時に、不審な IP アドレスからのアクセスをより積極的に検出やブロックしたり、攻撃元の IP アドレスが頻繁にローテーションするような場合でも追従できるように実行モードが切り替わります。外部からの攻撃が収まると、攻撃終了のイベントが記録され、Okta ThreatInsight は通常モードに戻ります。これにより、誤検出を最小限に抑えつつ、大規模な攻撃からも効率的に組織を守ることが可能となります。



System Log ← Back to Reports

From: 04/28/2021 00:00:00 To: 10/12/2021 23:59:59 PDT

Search: eventType eq "security.attack.start" and eventType eq "security.attack.end" Save

[Advanced Filters / Reset Filters](#)

Time	Actor	Event Info	Targets
Apr 19 12:50:21	127.0.0.1 (IP address)	Request from suspicious actor deny	
<p>▶ Actor 127.0.0.1 (id: unknown)</p> <p>▶ Client CHROME on Mac OS X Computer from 127.0.0.1</p> <p>▶ Event</p> <p>▶ AuthenticationContext</p> <p> - DisplayMessage Request from suspicious actor</p> <p> - EventType security.threat.detected</p> <p> - Outcome</p> <p> - Reason Password Spray</p> <p> - Result DENY</p> <p> - Published 2019-04-19T16:50:21.336Z</p> <p>▶ SecurityContext</p> <p> - Severity WARN</p> <p>▶ System Transaction (id: XLn8TQKtj--oTpK2CILNugAABE)</p> <p>▶ Request</p> <p> - Target</p>			

Okta では、Okta ThreatInsight 以外にも、アクセス制御のために様々なタイプのアクセス元を定義する Network Zone (<https://help.okta.com/en/prod/Content/Topics/Security/network/network-zones.htm>) や、外部のリスクプロバイダや自社が保有するリスク情報を Okta に送付する Risk Events API (<https://developer.okta.com/docs/reference/api/risk-events/#send-risk-events>) をはじめとする様々な IP ベースのソリューションを提供しています。また、Okta Workflows (<https://www.okta.com/jp/platform/workflows/>) を利用すれば、Okta に蓄積されている不審な IP 情報を外部のシステムと共有することも可能になります。

ご参考資料

- Okta ThreatInsight について (英語)
(https://help.okta.com/en/prod/Content/Topics/Security/threat-insight/ti-index.htm?cshid=ext_threatinsight)
- Okta ThreatInsight ホワイトペーパー (英語)
(<https://www.okta.com/resources/whitepaper/okta-threatinsight/>)

その他の最新機能アップデートは以下をご覧ください。

Okta 新機能のお知らせ

(<https://www.okta.com/jp/blog/2021/11/okta-new-features-october-2021/>)

Okta について

Okta は、すべての人のアイデンティティとアクセスを安全に管理するベンダーニュートラルなサービスプロバイダーです。Okta が提供するプラットフォーム「Okta Identity Cloud」により、クラウド、オンプレミスを問わず、適切な人に適切なテクノロジーを適切なタイミングで安全に利用できるようにします。7,200 以上のアプリケーションとの事前連携が完了している「Okta Integration Network」を活用して、あらゆる人や組織にシンプルかつ安全なアクセスを提

Media Alert



供し、お客様の潜在能力を最大限発揮できるように支援します。JetBlue、Nordstrom、Siemens、Slack、Takeda、Teach for America、Twilio を含む 13,050 以上のお客様が Okta を活用して、職場や顧客のアイデンティティを保護しています。

<https://www.okta.com/jp/>